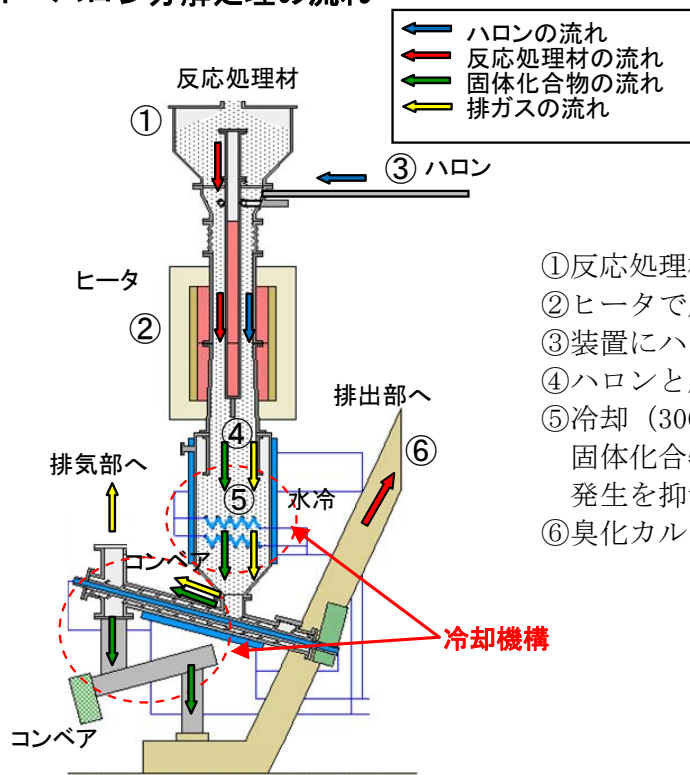


ハロン分解処理の概要

1 ハロン分解処理の流れ



- ① 反応処理材を上部から連続的に投入
- ② ヒータで反応処理材を加熱
- ③ 装置にハロンを導入
- ④ ハロンと反応処理材が反応
- ⑤ 冷却 (300℃以下) により臭化カルシウム等の固体化合物を安定させ、臭素等の副生成ガスの発生を抑制
- ⑥ 臭化カルシウム等の固体化合物を排出

図1 ハロン分解処理装置主要部

2 処理装置の概要

対象	ハロン 1301、ハロン 2402	処理温度	850℃
寸法	(W)7.4 m×(D)2.0 m×(H)5.7 m	重量	5,300 kg
処理能力	3 kg/h		



図2 ハロン分解処理装置の外観

3 ハロン分解処理結果

	ハロン破壊処理 ガイドライン基準値	結果	
		ハロン 1301	ハロン 2402
ハロン分解率 (%)	99.9 以上	99.98 以上	99.98 以上
排ガス中未分解ハロン濃度 (ppm)	15 以下	不検出	不検出
有害副生成物			
一酸化炭素 (mg/Nm ³)	100 未満	不検出	不検出
塩化水素 (mg/Nm ³)	100 未満	不検出	不検出
フッ化水素 (mg/Nm ³)	5 未満	不検出	不検出
臭素 (mg/Nm ³)	5 未満	不検出	不検出
ダイオキシン類 (ng-TEQ [※] /Nm ³)	1.0 以下	0.0000025	0.00000057

※TEQ：毒性等量 (Toxicity Equivalency Quantity、毒性の強さを加味した ダイオキシン類量の単位)